



KYOEI NEWS

第178号



共栄システム株式会社

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番7号

TEL(06)-6535-7511 FAX(06)-6535-7517

E-mail osaka@kyoeisystem.co.jp

URL <http://www.kyoeisystem.co.jp>

<運送会社の経営情報>

ブラック企業と運送会社

◆「ブラック企業」は依然重要なキーワード◆



2013年の流行語大賞にも選出された、「**ブラック企業**」という言葉。明確な定義があるものはありませんが、ブラック企業対策プロジェクトでは一応、「**異常な長時間労働やパワーハラスメントなど劣悪な労働条件で従業員を酷使するため、離職率も高く、過労にともなう問題等も起きやすい企業のこと**」との定義付けを行っています。

一時は毎日のようにメディア等で目にしたキーワードですが、最近はそうしたことも少なくなくなり、一時期の流行は去った感を持っている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、日本労働組合総連合会(連合)が行った調査で、**4人に1人が「勤務先はブラック企業である」と感じており、特に20代ではこの割合が3人に1人となること**がわかりました。「ブラック企業」は、まだまだ関心が高いキーワードであると言えます。

この調査は、それぞれの労働者が「自分の勤務先がブラック企業であると考えているかどうか」を問うものであり、客観的な指標をもとにブラック認定を行うものではありませんが、ハラスメントの考え方と同様、労働者個々が「勤務先がブラック企業である」と考えているということは、「ブラック企業のような働き方をさせられている。」と感じているということであり、働き方等を考えるうえで大きなポイントとなります。

同調査によると、勤務先がブラック企業だと思う理由の上位は「**長時間労働が当たり前**」、「**仕事に合わない低賃金**」、「**有給休暇が取得できない**」、「**サービス残業が当たり前になっている**」…等となっています。労務トラブルの発生を防ぐという観点からは、これらの要因をいかになくしていくかが、今後とも検討していく必要があります。

◆トラック運送業等に対する労働行政による監督指導の実態◆

厚生労働省から、全国の労働基準監督機関(労働局、労働基準監督署等)がトラックやバス、タクシー等の自動車運転者を使用する事業場に対して行った平成25年の監督指導、送検の状況が発表されました。

監督実施事業場数は4,279件で、そのうち労働基準関係法令違反の割合が**82.1%(3,513件)**、改善基準告示違反の割合は**58.7%(2,510件)**となっています。主な違反事項としては、「**労働時間**」が56.6%と最も多く、「**割増賃金**」(24.5%)、「**休日**」(4.7%)と続いています。

主な改善基準告示の違反事項としては、「**最大拘束時間**」(47%)が最も多く、以下、「**総拘束時間**」(36.3%)、「**休息期間**」(32.7%)、「**連続運転時間**」(25.6%)、「**最大運転時間**」(15.1%)となっています。また、重大または悪質な違反により送検された件数は69件に上ります。

以上を踏まえますと、**今後とも、「長時間労働 = 運送業」のイメージを払拭する必要があり**、そのためには、非生産的な手待ち時間の解消等、荷主顧客の理解を進めて行くと同時に、IT機器の導入等を通じて業務の効率化を推進していく必要があります。



※※共栄ニュースはeメールによる配信も承ります。※※

ご要望の際はメールアドレスをFAX(06-6535-7517)までご連絡下さい。

貴社名		アドレス	
-----	--	------	--